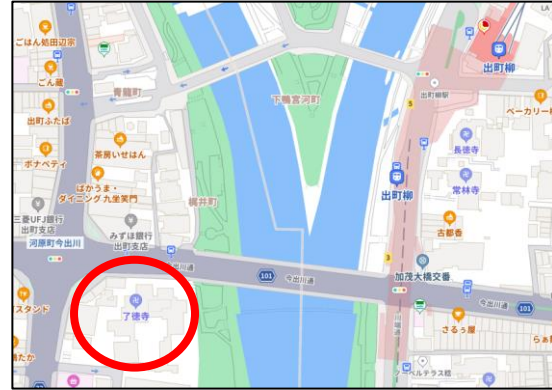


# NMO OfficeLetter

## 市内最大級の廃屋寺院がマクドナルドハウスに変身

京阪出町柳駅から賀茂大橋を渡ると、大谷派の「了徳寺」(1615年創建)がある。鴨川の向こうに東山の山並みが見える京都御苑の近く。鴨川に面し、大文字山を望む場所に、廃屋が並ぶ宮家の跡地がある。門徒総代や建物を調べた建築士によると、敷地は約4800平方メートル。もともと皇族の伏見宮の別邸で、1892(明治25)年、伏見宮貞愛(さだなる)親王の時に建築された屋敷や、江戸後期のものと考えられる門が残る。市の報告書によれば1926(大正15)年に凍氷商で財をなした山田啓助氏の長男がこの土地を購入。翌27(昭和2)年に洋館を建築



了徳寺

した。京都市中心に残る邸宅遺構として最大規模という。戦後は寺になったが、この40年は住職が不在で、土地の売買を装って金をだまし取る地面師事件の舞台にもなった。この土地がどう生まれ変わるか注目されていたが、とうとう活用法が決まった。マクドナルドハウスになる。

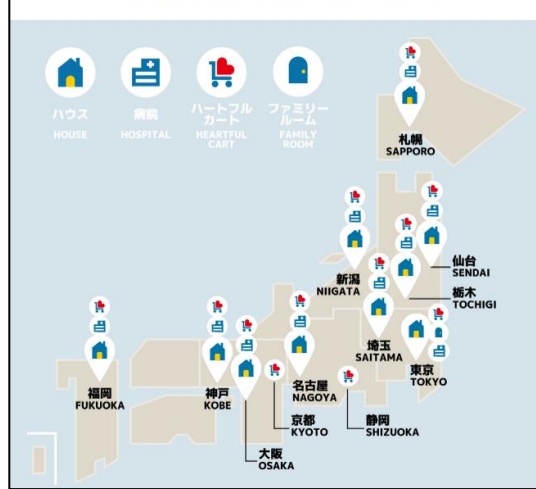
＜解説＞マクドナルド・ハウスとは、お家から遠く離れた病院に入院・通院している子どもとそのご家族のための「第二のわが家」。子どもの治療に付き添うご家族のための滞在施設。

## 京都市内にできるマクドナルドハウス完成予想図



子どもが病気になったとき、ご家族はなによりもまず、子どもに最善の治療を受けさせようとするもの。でも、もしその病院が自宅から遠い場所にあったら、ご家族の負担は精神的にも肉体的にも、経済的にも大きなものになる。そんな時、親は自分のことなど二の次で、子どもの治療に付き添うために、何日も病院のソファーや簡易ベッドで寝たり、三食を簡単な弁当で済ませたり。そのうえ、遠く離れた自宅に残してきた家族のことも心配。マクドナルド・ハウスは、このようなご家族をサポートするために生まれた。1974年フィラデルフィアでアメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒルの3歳の愛娘が白血病にかかり、入院。そこで彼は、病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないものかと考え、近くにあるマクドナルドの店舗のオーナーや病院の医師、フットボールチームの仲間の協力を得て募金活動が進められて、地元新聞社が提供してくれた家屋を改造し、世界初の『ドナルド・マクドナルド・ハウス』が誕生。2023年6月現在、全世界で約380カ所が開設されている。

日本のドナルド・マクドナルド・ハウス



公益財団法人  
ドナルド・マクドナルド・ハウス・  
チャリティーズ・ジャパン

Keeping families close™